

キャラクター名
月見ヶ丘 優

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
	エンジェルハイロウ				
オプション		年齢	16	性別	男
覚醒	生誕	衝動	憎悪	初期侵食率	39 %
出自	疎まれた子	経験	裏切られた	邂逅	殺意

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	1	0			1	行動値	12
感覚	6	0	0			6	(非装備時)	14
精神	2	0	0			2	戦闘移動	19
社会	0	0	1			1	全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
水晶加工両手剣(スティレット)	白兵	6r+3		23		
	白兵	14r+3		89		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
アームドスーツ		10	-3	-2	

所持品	
ウエポンケース	
ナイフ	
応急手当て	

合計装甲: 10 合計回避: -3

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
夜の小鳥	P 幸福感	N 不安		
伊庭宗一	P 尊敬	N 劣等感		
	P 感服	N 劣等感		
赤の女王	P 幸福感	N 不快感		
鳴宮 砂羽	P 尽力	N 不安		
根岸 掘作	P 連帯感	N 偏愛		
能崎 若葉(のうさき わかば)	P 幸福感	N 敵愾心		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト・エンジェル	3	2	メジャー	-	-	-		
効果:	C値-Lv							
陽炎の衣	2	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果:	シーンLv回隠密状態に							
見えざる死神	5	2	メジャー	武器	-	対決		
効果:	隠密状態の時にダイス+1 攻撃力+Lv×3							
デスストーカー	7		常時	至近	自身	自動	リミット	
効果:	隠密状態の時攻撃力Lv×4 浸蝕率+5							
光の舞踏	1	2	メジャー	武器	-	-		
効果:	感覚で白兵							
光芒の疾走	1	1	マイナー	至近	自身	自動		
効果:	シーンLv回の移動							
ピンポイントレーザー	1	2	メジャー	-	-	対決		
効果:	装甲無視 -5+Lv							
死点打ち	5	3	メジャー	武器	単体	対決		
効果:	攻撃力+Lv×3							
光速の剣	2	1	メジャー	武器	-	対決		
効果:	隠密時にガード無視							
光と闇の眼	1		常時					
効果:	隠密状態の敵が分かる 浸食率+4							
天使の外套	★							
効果:								
天使の絵の具	★							
効果:								
見放されし地	★							
効果:								

幼少期に両親が死んで親戚の家に預けられていたが、その親戚により売られ暗殺者として育てられた過去を持つオーヴァード。その後UGNによって助けられるも、帰る家も理由も無かったのでそのままUGNに保護されチルドレンとして活動をしている。力が弱く、真っ正面からの戦いを苦手としており、戦闘ではエンジェルハイロウの能力を利用し相手の不意を突き、対象の骨や筋肉を避けて内臓に武器を突き立てて倒す戦闘法を得意としている。

夜の小鳥
彼がUGNに来る前からずっと持っていた木彫りの小鳥。彼が嫌がる事もあり、未だにそれが何処から来たのか、誰が作ったのか、どんな力があるのかも不明である。

彼の両親
彼自身も、そして彼の本名が分からない為UGNも把握していないが、彼の両親は優れたオーヴァードであった。特に母親は古代種のレネゲイドウイルスに感染していた為、通常のオーヴァードより強い力を持っていた。そんな夫婦にある時子供が産まれた。その子は産まれながらにしてオーヴァードでもあったが両親は彼の生誕をとて喜んで。自分達オーヴァードだって幸せになる権利はあるのだと、幸せにこれから過ごすのだと。しかしその幸せは突然終わりを迎える。産まれながらにしてオーヴァードであった彼は非常に良い検体になると考えた者達によって、彼等が住んでいた家は襲われたのだ。必死に抵抗を試みるも、出産の為に前線から離れていた2人は次第に押され始め、父も母も亡くなった。翌日近隣住民が彼等の家に行くと、そこには死体となった両親と荒らされた部屋、一人ぼっちで泣いていた子供がいた。その手には前日に父親が不慣れな手付きで握っていた木彫りの小鳥が握られていた。

